

**筑波大学に
マイカップ自販機を！(10027A)**

原 朋弘（社会・国際学群 国際総合学類 2年）

**プロジェクトについて**

この企画を端的に説明すると、「従来の使い捨て容器使用の自動販売機ではあまりにもゴミが多いため、購入者が各々でマイボトルを持ってきて飲料を購入できる自動販売機を筑波大学に設置し、ゴミの削減に貢献しよう！」という企画です。スターバックスのタンブラーみたいな物に自販機で飲料を入れて持ち運ぶ姿をイメージしてもらえると分かりやすいと思います。

また、この企画を進めていくことになったのは単純な理由です。「自販機を通じて排出されるゴミを削減できたら、かなりのゴミ削減につながる」と考えたからで、「持ち運ぶ」ことを前提にしたのは、キャンパスが広く、教室間の移動に自転車を多用する筑波大学ならではの特徴を考慮してのことです。

自販機の設置によって、筑波大学の皆さんにもっと環境問題に関心をもってもらい、最終的には、筑波大学から『マイボトル自販機によるゴミの削減』という新しいアイデアを社会全体に発信していこうと考えています。去年の10月にこの企画を発案して現在に至るまで、導入例の調査、T-ACTの承認、企業・財団法人の訪問、全学でのアンケートの実施、企画書の作成など、全て自分たちの力で進めてきました。訪問では、「マイボトル自販機」ではありませんが、実際に「マイカップ自販機」を目にすることができ、またCSRを推進する方々には、従来の自販機よりも低価格で飲料が買える仕組みの話を知り、大変貴重な経験をさせてもらいました。CSRとはCorporate Social Responsibilityの略であり、「企業が利益追求だけでなく、組織として社会的責任を果たす」ことを示す用語です。

さらに、「マイボトル自販機」の導入が実現すれば、これは日本初の試みとなる上、筑波大学が進める大学のブランディング計画「TSUKUBA BRANDING」にも貢献できると考えています。

私達【blast】という団体

この企画を進めているのは、私たちblastという団体です。現在、国際総合学類2年4名と、生物資源学類2年1名の計5名からなり、今現在サークル承認申請中の団体になります。このT-ACT企画を発案する前の昨年9月に設立され、活動内容も今までの団体にはなかった「新しい」ことをしています。

「この社会に横たわる問題を学び、感じ取り、解決策を目指して意見を共有して行動することで、学生

の視点から新しい考えを提案していく」ことを目標としています。そのため、blastで扱うテーマは環境問題から教育問題、貧困問題など、実に様々です。メンバーそれぞれが普段から社会に対して疑問に思っていることや「今の社会のここを良くしたい！」と考えていることを週1回のミーティングで発表し、そのテーマを全員でじっくり話し合い、自分たちblastで解決できそうな事柄を見つけたら、実際に行動開始です。

おわりに

私たちblastはこのT-ACTの活動を通して、「自分たちの力」で企画発案、計画立案、調査、様々な団体との意見交換を行ってきました。このような形で行動するのはメンバー皆が初めてであり、そのために作業効率の悪さや企画の運営の難しさを痛感してきました。それでも、人生で一番自由な時間を過ごせる大学生でなくては、このような経験はできないと思っています。この経験は今後の団体活動でも、社会人になってからでも十分に活かると考えています。その点で、このT-ACTは私たち学生が「何か」行動を起こすには本当に役立つ取組です。皆さんもこのT-ACTを通じて、自分の興味・関心を広げてみてはいかがでしょうか。

また、私たちは、現在もアツい目標を持ったメンバーを随時募集中しています。社会に対してずっと疑問に思っていたことがある人、大学に入っているいろいろな経験を積んで今社会に物を申したいことがある人、総合大学である筑波大学には本当に様々な考えを持った方がいると思います。皆さんの声を聞かせてください。私たちblast一同、心からお待ちしています。

